

- 1 主題名 命の大切さを考える
- 2 教材名 「命の大切さ」＜出典：自作教材＞
- 3 主題構成表

■ 内容項目 D 生命の尊さ

生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。

■ 価値の分析

- ・私達の身の回りには多くの命があり、その一つ一つがかけがえのないものである。命の大切さについて考えることで、自他の生命を尊重し、命を大切にすることができる。
- ・生命を未来へつないでいくために様々な職業の人が働いており、生命に関わる仕事に誇りをもっている。
- ・生命の大切さについて真剣に考えることで、生命の有限性を理解し、自他の生命を尊重する態度を育てる。

■ 内容項目から見た児童の実態（意識）

- ・命の大切さについては、ほとんどの児童が理解している。しかし、大切である理由について考えたり、命を大切にするとはいどういうことかを具体的に考えたりしている児童は少ない。

■ 意識の要因

- ・ふだんの生活の中で「命は大切である。」と繰り返し聞いたり、植物や動物と触れ合う経験をしたりする中で、命の大切さを感じている。
- ・どうして命が大切なのかということや、どうしたら命を大切にできるのかということについては、考える機会があまりない。

■ 教材の分析

- ・東京女子医大東医療センターの救急救命センター I C Uで陣頭指揮を執る、赤池麻奈美主任看護師は、FNNの取材に対して、「誇りや責任に奮い立たされて、看護師の仕事が続けている。」と答えている。
- ・自分がコロナ病棟で働くことを考えた時、危険な場所では働きたくないという気持ちを理解することができる。
- ・コロナ禍においても誇りと責任感をもち懸命に働く看護師の姿から、命を大切にするとはいどういうことかに気が付くことができる。
- ・命が大切であることについて真剣に考えたり、仲間の意見を聞いたりすることで、自分の考えを深めることができる。

ねらい

医療従事者のインタビューをもとに命について話し合う活動を通して、自他の生命はかけがえのないものであることと、生命を大切にすることの意味に気づき、生命を尊重する態度を育てる。

■ 研究内容に関わって

＜Ⅱ-② 多面的・多角的な考えや多様な感じ方を引き出し、人間理解、他者理解、価値理解、自己理解を促す発問の工夫と精選＞

他者の命を救うためには、自分の命を危険にさらさなければならないという葛藤のある状況の中で働く医療従事者の生き方について話し合うことで、命の大切さについての多面的・多角的な考えや多様な感じ方を引き出す。

ポジショニングによって立場を明確にすることで、話し合いを深めるとともに、自分の考えの変容に気付けるようにする。

4 学習指導過程

避	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導 入 展 開 前 段 展 開 後 段 終 末	<p>1. 価値への方向付けをする。 ○自分が医師や看護師としてコロナ病棟に勤務するように言われたら、引き受けますか、断りますか。ポジショニングで表し、理由をはっきりさせて発表しましょう。 <断る> 自分の命 ・コロナはこわいから。 ・自分がコロナになって重症化したら命が危ない。 ・自分がコロナになったら、家族も感染するかもしれない。 <迷う> ・こわいけれど、誰も引き受けなかったら患者さんが助からない。 ・他の人が引き受けてくれたらいいけれど。 <引き受ける> 他の人の命も ・仕事だから引き受ける。 ・感染に十分気を付けて、患者さんを助けたい。</p> <p>2. 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 命を大切にすることについて考えよう。 </div></p> <p>3. 資料「赤池看護師へのインタビュー」を読んで話し合う。 ◎インタビューを読んで、もう一度考えましょう。自分が医師や看護師としてコロナ病棟に勤務するように言われたら、引き受けますか。断りますか。理由をはっきりさせて発表しましょう。 <断る> ・やっぱりコロナはこわい。 ・自分がコロナにかかりたくない。 ・自分だけでなく、家族も巻き込んでしまう。 <迷う> ・こわいけれど、誰かがやらなければならない。 ・他の人だってこわいのは同じ。 ・引き受けたい気持ちもあるけど、やっぱりコロナが怖い。 <引き受ける> ・医師や看護師としてやらなくてはいけないと思う。 ・自分の命も大事だけれど、他の人の命も大事。 ・自分の命をちゃんと守りながら人の命を助けることはできると思う。</p> <p>4. もう一度ポジショニング機能を使い、変容を自覚する。 ・自分の命を守る自信がないから断りたい。 ・初めは断ろうと思ったけど、患者さんの命も大切なので、迷う。 ・やっぱり自分の命も他の人の命も守りたい。感染しないように気を付けて守りたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の命も他の人の命も大事。どの命も守っていく必要があり、守っている人がいる。 </div></p> <p>5. 自分とつなげる。 ○今日の学習で命について考えたことを書きましょう。 ・命は一つしかないから、自分で守っていかなくてはいけない。 ・自分の命だけでなく、他の人の命も大切に守っていく必要がある。 ・命をかけて他の人の命を守っている人がいる。すごいと思うし、自分もできることをしたい。 ・自分の命も人の命も守れる人になりたい。</p> <p>6. 教師の説話を聞く。</p>	<p>・意識の変容を確認するために、ポジショニング機能を使わせて後、画面ロックをかけておく。</p> <p>・仲間の考えを知ったり、この後の自分の考えの変容を確認したりするために、児童の考えを集計して、モニターに提示する。 (自己理解)</p> <p>・様々な立場の児童を意図的に指名する。特に、ポジショニングで中央付近に位置している児童を意図的に指名し、どうして意見に迷いがあるのかを問うことで、児童に多角的な視点を提示できるようにする。 (他者理解)</p> <p>・<断る>のは、自分の命を大事に思うからであり、<引き受ける>のは、他の人の命も大事に思うからであるとういうことに気付かせ、主発問にかかわる話合いにつなげていく。</p> <p>・実際に看護師として働く方のインタビューを提示することで、身近にある現実の問題として主発問について考えられるようにする。 (他者理解・価値理解)</p> <p>・ポジショニングの後、資料を読んだ後の2回、理由を発表させることで、命の大切さについて多角的な考えがあることを理解させる。 (他者理解・人間理解・価値理解)</p> <p>・3つの立場のどれかに偏る場合は、問い返して深める。 「断る」→「みんなが断ったら、患者さんはどうしたらよいのだろう。」 「迷う」→「どちらの気持ちにより近いだろう。理由も話してみよう。」 「引き受ける」→「本当に自分の命も他人の命も守れるだろうか。」</p> <p>・変容した児童を意図的に指名する。立場は変わらなくても、仲間の意見を聞いて考えの深まりや広がりがある児童を価値付ける。</p> <p>・まとめに照らして、今の自分の思いが書けるように支援する。 (他者理解・価値理解)</p> <p>・児童の振り返りを発表させ、価値付ける。</p> <p>・消防士さんなど身近で命を守っている人の話を紹介する。</p>

